

株式会社高齢社（サービス業）

＜「定年後も元気に働きたい」との高齢者のニーズに応えながら、陣容・事業拡大を図る＞

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・ 定年退職を迎えても健康で働く意欲の高い人の多さに注目し、2000年に会社設立。当初は登録社員25名でガス会社やガス機器メーカーの請負業務からスタートし、派遣業・紹介業の資格を取得して事業拡大を図った。現在は派遣登録会員数600名を超え、業務内容は約100種類と多岐に渡る。

◆取組内容

- ・ 働く人の都合を優先するとともに、健康面等での不測の事態を補うために、一人分の仕事を二人以上で担当する「ワークシェアリング方式」（同一の業務を異なる人が異なる曜日で分担する）を採用。経営理念は「会社は従業員が第一」という「人本（じんぽん）主義」であり、「会社が社員を大事にすれば、社員は顧客を大事にし、それが売上増のつながり、配当もできる」と考えている。経常利益連動方式で期末手当と業績手当を支給している（経常利益の30%以上を社員還元）。
- ・ 登録社員の入社資格は60～75歳で、定年制は無い。採用では「これまでの経験を活かして何ができるか」という実力だけでなく、派遣先では自分より年齢が若い人と業務を行うため、立場もわきまえた円滑なコミュニケーションができる基本動作や人柄も重視する。派遣登録者数の増加に伴い、基本動作の質を確保・維持するため「CS（顧客満足）マナー研修」を導入している。
- ・ 新たな分野の業務を受託するたびに、最適なスキル・経験を有する高齢者を案件に投入し、ビジネス化してきたことで、事業が拡大してきた。主に高齢女性はPCスキルを持たない人が多いため、2012年4月から家事代行事業を開始、家事代行の派遣登録235人（70%以上が60歳以上）のほとんどが女性である。

◆成果

- ・ 人本主義の経営理念やワークシェアリング方式による働きやすさが評価され、メディアからの取材依頼も増加した結果、応募者の増加につながり、優秀なシニア人材の獲得に成功している。
- ・ ワークシェアリングで安定的に人材を派遣できること、またCSマナー研修等による真面目で丁寧なサービスなどによって、顧客満足度が向上。受注件数も大きく拡大し、売上は2006年度1.63億円から2012年度には4.5億円まで飛躍的に拡大している。

＜企業概要＞

設立年	2000年	資本金	10百万円
本社所在地	東京都千代田区外神田3-6-4		
事業概要	労働者人材派遣事業		
売上高(※)	383百万円（※）直近決算期(2012年3月)		

＜従業員の状況（単体）＞

総従業員数	10人(ほか、派遣319人 嘱託他18人)
属性ごとの人数等	【65歳以上】260人(うち非正規260人)
正規従業員の平均勤続年数	3.7年(男性4.4年 女性1.0年)